



鴻巣市立下忍小学校

令和6年2月29日発行

学校だより

◎教育目標（目指す児童像）

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地

Tel 548-2300

人間の強みとは ～学校で学ぶということ～

校長 野本 昌宏

日中の日の光に春らしさを感じる季節となりました。校庭の桜の小さな芽も少しずつふくらみ始めました。3月22日には、卒業証書授与式が行われ、6年生の皆さん78名が巣立っていくことになります。卒業生、保護者の皆様に心からお祝い申し上げます。また、本校教育活動にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

先日新聞の一面に「小中学校の授業を5分短縮、年間で計85時間を弾力的に運用へ…各学校の裁量で自由に」との見出しがありました。（2月10日付読売新聞）学習内容を定めた学習指導要領の改訂に合わせての検討ということで、しばらくは先のことのようです。記事によれば、85時間分は各学校で「思考力育成を目指した探究活動や、基礎学力定着のためのドリル学習など各校がそれぞれの実情に応じて指導に生かす」とのことです。今後、学校でしかできない学びが問われていくように感じます。

以前、PTA広報「若葉」に「非認知能力」のことを書きました。「非認知能力」とは、数値で測定できない能力を指します。例えば、「好奇心」「創造性」「粘り強さ」「協調性」「ストレス耐性」などが当たるそうです。これらは今話題のAIが代替できない分野です。先行き不透明な社会においては、このような正解のない問題にも協力して対処することが求められているのです。では、学校で「非認知能力」を高めていくにはどんな方法があるのでしょうか。

ある高校では、生徒が話し合って、校則の見直しを進めているそうですが、自分たちの考えだけでなく、地元の企業や大学に「身だしなみとおしゃれ」について意見を聴くなど、当事者意識と社会との接続を意識して取り組んでいるそうです。校則一つとっても、様々な考えがあり、「これが正解」というものではありません。この高校でも、校則の見直し案をつくった後、他の生徒、教員や保護者の賛同を得ていくためにどのように自分たちの案の良さを訴えていくのかというプロセスを踏んでいくものと思われます。その過程の中で、仲間と共に作り上げていく、「粘り強さ」「協調性」などが養われていくのでしょう。途中の段階では、仲間との間で、意見の違いや葛藤、失敗もあるでしょう。「教室は間違ふところだ」というように、失敗が許容され、周囲と折り合いをつけるという経験は、学校でしか得られないものなのではないでしょうか。AIの時代だからこそ、人間にとっての強み、「非認知能力」を生かしていく。そのために学校で何をどう学ぶのか、問われているのだと思います。

ありがとう集会

2月7日（水）に日頃から本校の教育活動にご協力いただいている学校応援団（学校ボランティア）の方々をお招きし、児童集会としてありがとう集会を実施しました。子どもたちからは事前に心を込めて作成していた「花束」と校歌のプレゼントをさせていただきました。応援団の皆様には、早朝から、また寒い中來校いただきありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



成長報告会 6年生

2月27日（火）に、6年生が小学校生活最後の授業参観で成長報告会を行いました。いくつかのグループごとに、今まで積み重ねてきた練習の成果を発揮しとても素晴らしい発表をすることができました。また、各グループの発表だけでなく、6年生全体での合唱や呼びかけなど、保護者の皆様へ、6年間の子どもの成長と感謝の気持ちが伝わる素晴らしい発表会となりました。保護者の皆様、お忙しい中、ご参会いただきありがとうございました。



※ホームページの「校長室より」「下忍スナップ」にも学校の活動様子や詳細を掲載していますので是非ご覧ください。

学校からのお知らせ

○3月5日（火）からは新通学班での登校です

来年度に向けた新しい通学班での登校となります。6年生は、新通学班を見守りながら登校してください。学校に着く時間は、7時50分～8時00分です。

○3月22日（金）は卒業式です

1年生から4年生は臨時休業日となります。午前中は家庭学習を行ってください。（午前中、校庭の使用はできません。）

○令和6年度の行事予定は3月中旬頃にホームページで掲載予定です

（掲載次第、緊急連絡メールにてお知らせいたします。）

○令和6年度の日課表について

今年度と同様となります。下校時刻は月火木金の5時間の時は14:30、6時間の時は15:25、水曜日は5時間の時は14:50、6時間（クラブや委員会）の時は15:40となります。

※＜地震災害時の確認＞

鴻巣市では、お子さんが学校にいる時、震度5弱以上の地震が発生した場合は、お子さんを学校に留置き、既に提出されている引渡しカードに基づき保護者等へ引渡しとなっております。災害時は混乱等が予想されるため徒歩での引取りにご協力をお願いいたします。